

船舶事故等調査報告書

平成26年7月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第54号
事故等種類	転覆
発生日時	平成25年12月17日（火） 09時50分ごろ
発生場所	沖縄県宮古島市下地島西方沖 宮古島市所在のポリ池四等三角点から真方位196°695m付近 （概位 北緯24°49.6′ 東経125°08.1′）
事故等調査の経過	平成25年12月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーモーターボート ステラ、5トン未満（長さ3.89m）
船舶番号、船舶所有者等	235-39912 沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	舵輪が脱落
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、宮古島市伊良部島西岸の佐和田の浜を出発し、下地島西方沖を約15ノットの速力で南進した。 船長は、天候が悪化して海が荒れ始めたので、帰るために反転して下地島西方沖を北進中、船尾方向から波が打ち込んで浸水し、平成25年12月17日09時50分ごろ転覆した。 船長及び同乗者は、泳いで付近の海岸に上陸し、本船は、転覆した状態で海上保安庁の巡視艇に発見された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期 宮古島市には、本事故当時、雷及び波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	船長は、出発前に宮古島市付近の気象予報を入手していたが、問題はないと思って出発した。 船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、下地島西方沖を北進中、船尾方向から波が打ち込んで浸水したことから、転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、下地島西方沖を北進中、船尾方向から波が打ち込んで浸水したため、転覆したことにより発生したものと考えられ

	る。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 荒天が予想される場合には、出発の可否判断を慎重に行うこと。